ＪＲ連合
ＮＥＷＳ

ＪＲ産業に集う
すべての仲間の
ＪＲ連合への
総結集を！！

2025 年度
Ｎｏ．７

２０２５年７月１８日
日本鉄道労働組合連合会

イーストユニオン 第 14 回定期大会開催

ＪＲ東日本で働くすべての仲間の総結集を実現する

ジェイアール・イーストユニオンは７月 13 日、都内において第 14 回定期大会を開催し、新体制を確立するとともに向こう１年の運動方針を決定した。

冒頭、執行部を代表して挨拶に立った小林徹志中央執行委員長は「職場と働く者の現実に丁寧に向き合い、実態を把握し、着実に対処していく営みが必要不可欠。運動の“見える化”を進め、組織の強化・拡大とＪＲ東日本で働くすべての仲間の総結集を実現させよう」と檄を発した。

ＪＲ連合からは上村良成会長が参画し、安全、組織課題、政治活動の主要課題を力強く推進させる重要性を訴えた。とりわけ、ＪＲの安全やコンプライアンスへの信頼を失墜しかねない重大事象等が相次いでいる点について、組織全体で危機意識を高めて取り組む決意を述べた。

▲新たに力強い仲間を加えた

議事では、年初から 54 名の組織拡大が果たされたことが報告されるとともに、「イーストユニオン」への略称変更や、「安全確立」「働きがいある会社、労働条件向上と会社発展」「民主化闘争完遂、組織強化・拡大」「政策実現と政治活動」等の運動方針が提起され、４名の代議員から補強する発言があった。執行部答弁、高橋佳昌事務局長の集約答弁後、すべての議案が採択された。

本大会では、２名の役員および１名の会計監査員が退任した。新たに川口直人書記長をはじめとする新役員を加えた執行部を確立し、小林中央執行委員長の団結がんばろうで締めくくった。